

さかえひがし  
**ふれあいネット 栄東**

栄東地区福祉のまち推進センター（以下「福まち」という。）では、地域で互いに支え合う環境を整え、だれもが安心して暮らせる地域社会をつくることを目的としています。このため、町内会等で支え合い活動をする方々、ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯、子育て世帯等を対象に様々な事業を展開しています。今号では、令和4年4月から12月までの活動概要をお知らせいたします。

## 《支え合いサポート事業》

### ◆緊急連絡先カード制作支援

最近救急隊から「栄東地区では、一人暮らし高齢者の搬送時、持病やかかりつけ医、緊急連絡先が分からない人が多く、一刻を急ぐ事態に対応できない」とのお話がありました。過去、筒状の緊急情報カード入りキットを冷蔵庫で保管していただく事業を実施しましたが、保管場所もわかりにくく、必ずしも緊急時に対応できない場合もありました。このため、マグネット付の透明プラスチックファイルを冷蔵庫に貼り付けてもらう取り組みを促進することとし、今年度は、緊急連絡カードを印刷し、栄中央第一町内会にマグネット付ファイルを提供しました。今後は各町内会に順次提供し、地区内での普及を目指すこととしています。



### ◆個人情報取扱・見守り事例を実施

福まちでは、町内会の一人暮らし高齢者の見守りマップづくりを支援し、地図情報の提供のほか、東区社会福祉協議会から提供を受けている65歳以上の高齢者名簿を閲覧に供し、見守り活動をサポートしています。

11月16日、「個人情報取扱及び見守活動研修会」を日の丸会館で開催しました。この研修は、町内会などが65歳以上の名簿を閲覧するには受講を不可欠としています。東区社会福祉協議会の滝谷朋子さんから、個人情報取り扱いについて説明を受け、「見守りとは、気に掛けることで訪問ではない。さりげない、声かけ・あいさつから。気づいて、受けとめて、つなぐことが優しいまちづくりにつながる」というお話が印象的でした。



次に見守活動研修は、先進的かつ積極的な栄中央第一町内会の取り組みについて、福祉協力員・安部俊子さんにご講演いただきました。同町内会は、現在13人の福祉協力員が活動しています。民生委員・児童委員と訪問が重ならないように連携も密で、訪問結果も共有するほか、福祉マップや新たな緊急連絡カードを作成するなど、非常に参考になる活動をされています。

## 《高齢者向け事業》

### ◆介護保険活用法を学ぶ。栄東福まち研修会

9月29日、「福まち研修会」を日の丸会館で開催しました。テーマは、「住み慣れた地域で元気で過ごすために～介護保険制度について知っておこう」と、創設されて22年余りの介護保険を取り上げていました。

利用経験がない方にとっては、どのような利用ができるのか、また、申請はどのようにするかなどは分からない方も多く、まず、基本的な知識を学ぼうというものです。研修会は、感染防止のため、同じ内容で2回繰り返す2部制で実施し、前半は、東区第三地域包括支援センターの小笠原祥子さんが「介護保険の基礎知識」を講義し、後半に介護予防センター栄・丘珠の相談員の阿部和佳子さんの指導で、参加者全員で軽い脳トレを実践しました。

講義のあとは、参加者から「認知症の場合、どのように申請すればよいのか」「申請には医者診断書が必要なのか」「かかりつけ医がいなく認知症が疑える時何科に受診すれば良いのか」などの質問が出されていました。高齢者が急増する中、不可欠な仕組みであり、うまく活用していつまでも安心して地域で暮らしていきたいものです。福まちでは、今後も「高齢者が安心して暮らせるまち」を目指して活動を進めてまいります。



### ◆専門家から生前対策を学ぶ。終活セミナー

11月28日、日の丸会館で生前対策を学ぶ終活セミナーを開催しました。講師は、千田大輔行政書士事務所の千田代表で生前対策の専門家です。

講演は、相続対策、医療・介護、税金対策、財産管理、葬儀・供養まで幅広く、詳しい資料に基づいてお話しされ、自宅に帰ってからも大いに活用できそうです。

相続対策では、遺言書の作成や財産を管理し、承継していくための民事信託の活用などが紹介されました。また、残された遺族の相続税対策や施設入所・入院時の保証、葬儀供養まで取り上げられ、それぞれ詳しいことが学べるきめ細かな内容になっています。

出席者は24名で、生前対策への関心の高さがうかがえます。このほか、福まちでは、東老人福祉センターで計6回、出前講座を2回開催しています。





## ◆特殊詐欺防止と健康体操を学ぶ。ふれあいお食事会

10月15日、日の丸会館（東区北41条東14丁目）で福まちのふれあいお食事会を開催しました。このイベントは、見守り活動の一環として栄東地区にお住いの一人暮らし高齢者と福まち福祉協力員の交流を図ることを目的に実施しています。感染防止のため、会場でのお食事や交流はできませんが、1年ぶりに皆さんの元気な姿を見せていただきました。

まず、プログラムの一番目に東警察署生活安全課の川上正道係長を講師に、「特殊詐欺被害にあわないために」と題して講演をいただき、特殊詐欺の手口や被害防止について学びました。

次に2番目は、介護予防センター栄・丘珠の阿部和佳子相談員の指導による健康体操です。皆さん時折笑顔を見せながらリズムにのって体操を楽しんでいました。



感染防止のため、1回1時間以内でかつ2回同じプログラムを繰り返す2部制で実施しましたが、87名の参加者などが、楽しいひと時を過ごしました。

## 子育てサロンのご利用を

0歳から小学校就学前までのお子さんと保護者が自由に集い、気軽な交流が楽しめる場です。

同じ年頃のお子さんを育てているお母さん・お父さんと子育ての輪を広げてみませんか。

★ひのまるちびっ子らんど（東区北41条東14丁目日の丸会館）

開催日時：毎月第4火曜日（12月は第3火曜日）

午前9時30分～11時30分

★グリーンピース（東区北51条東10丁目栄緑小3階視聴覚室）

開催日時：毎月第2火曜日（8月、1月はお休み）

午前10時00分～11時30分



## 《子育て世帯等支援事業》

### 乳幼児向けに変身！ちびっ子なつまつり復活

7月13日、新型コロナ禍で2年連続中止した「ひのまるちびっ子なつまつり」を運営中心者の「何とか復活させたい」という思いで開催しました。

オープニングは「バブルマシン」によってシャボン玉が空に次々に舞い上がり、子どもたちの歓声から始まりました。会場は、ひのまる公園の中央にあるロータリー付近です。セーフティ・コーンで区画し、中が密にならないよう感染予防を徹底しました。一番人気はバルーン・アートで、あっという間にできる犬や花、剣に子どもたちは大喜びです。このほか、金魚釣り、ヨーヨーコーナー、的あてにちえりあ劇場（紙芝居）などのコーナーでは、親子ともども笑顔が広がっていました。お子さんは130人余りでしたが、保護者と従事者を合わせると合計257人が参加しました。子どもの健やかな成長を願う栄東地区ならではのイベント復活です。



### 親子でお点前・クリスマス生け花。体験教室開催

子どもたちに少しでも日本の伝統文化に親しんでもらおうと、12月24日、東老人福祉センター（東区北41条東14丁目）で親子茶道・華道体験教室という異世代交流事業を開催しました。

まず、茶道では、講師から作法やお点前のほか、和菓子の切り方などの指導を受けました。参加したのは6組13人の親子で、茶道はただお茶やお菓子を美味しくいただくだけでなく、礼儀やお花といった文化も学べる、その奥深さの一端を感じていただきました。

また、生け花では、当日が、クリスマスイブということもあって「クリスマスのお花」



をテーマに実施しました。11組24人の親子が参加し、3人の先生から手ほどきを受けてすぐに実践です。先生が親子の傍らで、お花の切り方、いけ方のアドバイスやサポートをしてくれるのであっという間に出来上がりです。会場は、色とりどりのお花であふれ、クリスマスムードが漂っていました。